



4月9日に行われました県議選では大変お世話になりました。皆さまからの温かく大きなご支援により、1万7196票もの県内最多得票を頂き、当選を果たすことができました。ご期待以上の仕事ができるよう粉骨砕身、誠心誠意、取り組んでまいります。引き続きよろしくお願い申し上げます。

日頃より、私の活動に対して深くご理解・ご協力を賜り心から感謝申し上げます。2021年秋の補選で初当選させていただき、このたびの本選を経て、早くも「2期目」となりました。今後も初心を忘れることなく、県議会で唯一無二の存在として皆さまの負託にお応えできるよう邁進してまいります。

さて、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが引き下げられ、新たな日常が動き出しました。イベントの全面再開やマスク無しでのコミュニケーションなど社会の多くの場面で明るさを取り戻した一方、コロナ禍で浮き彫りになった諸課題に、今こそ向き合う必要があります。貧富の差は広がり、格差の固定化が進み、子どもや女性の自殺が増えました。また、介護や医療現場での慢性的な人手不足、さらに学校でも教員不足という深刻な事態が起きています。各現場の声に耳を傾け、根本的な解決に向けて全力を尽くします。ぜひお気軽にご意見、ご要望をお寄せください。

5月10日に初登庁し、議員バッジが交付されました。所属会派「リベラル群馬」の先輩と共に、新たな気持ちで記念撮影。県議50人のうち女性はわずか7人ですが、リベラル群馬は女性の方が多く、活発で風通しのよさが自慢です。



第2回定例会が開会（5月17日～6月13日）

総額66億8000万円の一般会計補正予算案が提出されました。以下、主な項目です。

- ・高校3年生までの医療費無料化（10月から県内全市町村でスタート）
- ・低所得のひとり親世帯への特別給付金（物価高騰対策）
- ・介護サービス事業所等に対するサービス提供体制確保（当面はコロナ対応を継続）
- ・尾瀬設備クオリティアップ（歩荷の萩原雅人氏が木道修繕のためにクラウドファンディングを実施し、県に寄付）
- ・LPガス利用者の負担軽減や特別高圧電力を使用する事業者への支援

詳細はこちら



一般質問に
登壇します

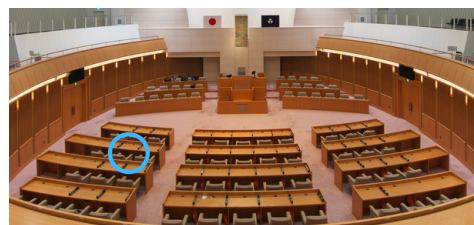
5月31日（水）

午前11時15分ごろ～（65分間）

議場での傍聴のほか、群馬テレビと
県議会ホームページでご視聴いただけます
<http://www.gunma-pref.stream.jfit.co.jp/>



座席位置が変わりました！



委員会が決まりました！

文教警察常任委員会

群馬県議会には、総務企画、健康福祉、環境農林、産経土木、文教警察の5つの常任委員会があり、議員はいずれか1つに所属します。私は今年度、県教育委員会と県警察を所管する文教警察常任委員会を選びました。子どもたちの視点に立って、より良い教育の現場を考えたい、持続可能な学校運営のために教職員の働き方改革を進めたい、と思っております。また通学路の安全対策や子どもを犯罪被害から守る取り組みにおいて、継続性のある仕組みづくりを求めています。現在、教育長と警察本部長が共に女性で、子どもたちの命や心身を守るための予防策やエンパワーメント（力を付けさせること）にも造詣が深く、群馬県が先進的な活動を進めるには千載一遇の好機と言えます。私も委員としてしっかり貢献したいと考えております。

少子化対策・well-beingに関する特別委員会

特別委員会では県政の重要なテーマについて、部局横断的、集中的に審査し、意見を出し合い、最終的に知事に宛てて提言をまとめます。今年度は4つの特別委員会が設置されました。「少子化対策・well-being」に関する特別委員会は、子育て支援（労働政策を含む）や健康寿命の延伸、インクルーシブ教育（障害の有無等にかかわらず一緒に学び合う教育）、多文化共生や多様性社会が主な取り扱いテーマとなっています。いずれも今考えるべき大切な課題であり、私の関心分野ど真ん中でもあります。他には、「危機管理・エネルギー」「交通・次世代産業振興」「リトリート・温泉文化」に関する特別委員会があります。

議会基本条例推進委員会

議会の魅力を高め、県民の皆さまにもっと議会や政治に関心を持っていただけるよう検討する委員会です。特に若者向けの取り組みも担当します。今回18選挙区のうち半分の9選挙区で無投票となり、選挙が行われたところでも、投票率は過去最低の39・51%でした。議会としても議員個人としても努力が必要だと感じております。知恵を絞って頑張ります。

G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合
(4月28日)



公式ホームページができました。

SNSや公式YouTubeチャンネル、過去のNEWSもご覧になれます。

<https://suzuki-atsuko.jp>



女性議員が増えました！

そのことが「初登庁」の報道で取り上げられました



定数50人のうち女性議員は過去最多の7人(14%)になりました。まだ少ないですが、昨年8月に内閣府男女共同参画局が公表した「都道府県別全国女性の参画マップ」では、県議47人のうち女性が5人(10・6%)で全国22位でしたので、今年は順位が上がる可能性があります。

政策を話し合う場、意思決定の場に、女性をはじめとした多様な視点が入ることはとても大切です。当事者の実感を伴う声こそが、問題解決の近道だと思っています。

私は子育てしながら仕事をしてきましたが、「両立」とは程遠く、「どちらも中途半端」という葛藤を抱えてきました。昨今、男性も「両立」が期待される中で、かつて女性たちがぶつかってきた「壁」を取り除くことは、男性にとってもメリットになるでしょう。

介護離職や非正規雇用の問題などでも同様です。

性別に関わりなく誰もが生きやすい社会をつくるために、女性議員同士党派の垣根を超えて連携を深めていきたいと思っております。



◇プロフィール◇

1981年生まれ。派遣社員を経て、毎日新聞社で記者として主に前橋支局で勤務。子育てや教育、福祉、労働、人権、ジェンダー、防災、地方創生などのテーマで社会問題を幅広く取材。2021年に退社して県議補選で初当選。2023年の県議選で2期目当選。家では思春期まっただ中の娘とやんちゃ盛りの息子に振り回されている。奈良女子大学卒。保有資格は中学/高校教諭 一種免許状(英語)、博物館学芸員。古墳と遺跡とソフトボールとラグビーが好き。

鈴木あつこへの応援をよろしく申し上げます

ボランティア

ピラ配り、座談会の開催、SNS投稿シェア、街頭活動の応援、LINE登録など無理のない範囲でご協力いただければ幸いです



「鈴木あつこ後援会（旧応援する会）」

▽お名前 ▽ご住所 ▽電話番号 ▽FAX番号 ▽メールアドレス
▽所属団体・紹介者 ▽ポスターや看板の設置可否を
事務所までお好きな方法でお知らせください
QRコードからもご登録いただけます→



ご寄付

振込先：群馬銀行
倉賀野支店 0802489 鈴木あつこ後援会

大切に使用させていただきます



日々の活動報告はこちらから

事務所

〒370-1201 倉賀野町1592-2 (旧「小金沢医院」2階)
TEL/FAX 027-335-6485
※留守番電話の時はメッセージをお願いいたします
MAIL suzuki.atsuko01@gmail.com